

2026年11月29日(日)自由論題報告
於:大阪商業大学



(報告30分 質疑10分 休憩5分)

分科会 会場 座長	第1分科会(マーケティング) 4号館 2F 426室 川端 庸子(埼玉大学)	第2分科会(有機農産物流通) 4号館 2F 425室 坂爪 浩史(北海道大学)	第3分科会(SCM) 4号館 2F 424室 下門 直人(京都橘大学)	第4分科会(小売流通) 4号館 2F 423室 高田 剛司(立命館大学)
9:45-10:25	総合型ECと専門型ECにおける顧客体験の比較に関する実証研究 丁 明(敬愛大学)	有機農産物市場の形成を媒介する小売実践—オーガニック専門スーパー「旬楽膳」の質的事例研究— 濱 満久(名古屋学院大学)	新興ファッションブランドによる差別化の実現と事業的自立の実現について—模倣回避と適格的消費者セグメントへの到達— 杉田 宗聰(阪南大学)	シンガポールにおける日系百貨店とショッピングセンターのビジネスシステム—シンガポール高島屋S.C.の発展と長期持続要因— 池澤 威郎(阪南大学)
10:30-11:10	中国家電メーカーのチャネル再構築—海爾智家(Haier Smart Home)のD2C展開を中心に— 朱 洪双(城西大学)	有機学校給食の実現に向けて何が必要か—学校給食を通じた有機農業の発展と市場拡大のメカニズム— 白 貞壬(流通科学大学)	化粧品原料流通における「コーディネート機能」の展開—原料商社の技術・情報支援とタイプ別比較に向けた視座— 岸本 秀一(金沢星稜大学)	
11:15-12:00	環境コミュニケーション研究の展開と今後の方向性 侯 利娟(九州産業大学)	オーガニック野菜の「需給斉合」における専門流通事業体の機能 加藤 司(大阪商業大学)	道徳的正統性vs.実用的正統性—総合商社の脱炭素の取組— 田中彰(京都大学) 高昭永	
分科会 会場 座長	第5分科会(食品流通) 4号館 2F 426室 清水池 義治(北海道大学)	第6分科会(40周年第1巻) 4号館 2F 425室 番場 博之(駒澤大学) 角谷 嘉則(桃山学院大学)	第7分科会(40周年第2巻) 4号館 2F 424室 山口 タ妃子(佐賀大学) 今野 聖士(名古屋大学)	第8分科会(40周年第3巻) 4号館 2F 423室 木下 明浩(立命館大学) 小林 富雄(日本女子大学)
13:00-13:40	九州地方における鶏卵養鶏経営と鶏卵流通に関する研究 橋本 美奈(北九州市立大学)	地域市場の変容と小売業の持続可能性—「スモールマーケット」論とセイコーマートを中心に— 佐々木 保幸(関西大学)	オムニチャネル小売業における人的タッチポイントとデジタル接客—アパレル企業3社における実践形態と実現条件の比較事例分析— 秦 小紅(共立女子大学)	制度変化とサービス・エコシステムのガバナンス 木下 明浩(立命館大学)
13:45-14:25	地域産品ブランドと地域空間ブランド評価における相互ループ形成要因—自由記述データのテキストマイニング分析による検討— 久保 菜々子(九州大学/院生) 森高正博(九州大学)	業態論からみる日本とアジアの流通 土屋 仁志(愛知大学)	小売プラットフォームの構造と問題点—Amazonマーケットプレイスを事例に— 宮崎 崇将(追手門学院大学)	2024年問題を中心とした物流システムの持続可能性 菊池 一夫(明治大学)
14:30-15:10	高齢者施設給食における調理済み食品の供給システム—「バルク方式」供給を事例に— 岡部 哲子(天使大学) 佐藤 信(北海学園大学)	一時的な売場と持続する関わり—北海道物産展にみる経験と反復— 武市 三智子(東洋大学)	台湾小売業界の再編とデジタル・トランスフォーメーション—統一超商と全聯の比較分析— 鍾 淑玲(東洋大学)	地域循環型経済と資源循環の可能性—副産物の「グッズ化」と市場形成の条件— 種市 豊(摂南大学)